

総務常任委員会行政視察研修報告書

- 1 目的 所管事務調査先進地視察（行政視察研修）
- 2 実施日 令和7年11月5日（水）～7日（金）
- 3 観察地 福岡県那珂川市
福岡県糸島市
佐賀県唐津市
- 4 観察内容 福岡県那珂川市「投票率向上の取組みについて、防災・減災の取組みについて」
福岡県糸島市「移住・定住促進事業について」
佐賀県唐津市「新庁舎建設事業について、ふるさと納税について」
- 5 参加者 委員長 石岡 祐二
副委員長 大河原千晶
委員 高瀬 一徳
委員 加藤 朋子
委員 鈴木 恒充
委員 小堀 勇人
執行部職員 2名
事務局職員 1名

福岡県那珂川市

観察日 令和7年11月5日（水）

1 那珂川市の概要

福岡県の西部、福岡市の都心部から南に約13kmに位置し、南は佐賀県、北と西は福岡市に接する。那珂川が中央を南北に貫流し、山間部には3つのダムがある。平野が広がる北部は福岡市のベッドタウンとして宅地開発が進行。春日市との境界に、新幹線の車両基地への引込線を活用したJR博多南線・博多南駅があり、博多駅までは8分で移動可能である。

人口 49,663人 面積 74.95 km²
議員定数 17人 会派 5会派

2 観察内容

那珂川市では、若者の選挙への関心を高めてもらうため、小学6年生を対象に実際の投票所である小学校の体育館に本物の投票箱や記載台等を設置し、簡単な投票

テーマを設け、投票を実施している。実際の選挙様式で、投票用紙や入場整理券や選挙公報等を作成し、演説会も行い、本番さながらの選挙体験を行っている。また、「家族で GoTo 選挙！」事業を実施し、チラシに抽選券を付け子どもに投票させたり、投票を呼びかける放送を高校生が行ったりと投票率向上への取組みを実施している。研修では、「投票率向上の取組み」について説明を受けた後、質疑応答を行った。また、併せて自主防災協議会で各行政区の自主防災組織の相互連携を図り、市全体の自主防災力の向上を図っている取組みや過去の災害から教訓としている防災の取組み等についても説明を受け、その後、質疑応答を行った。

3 所感

「投票率向上の取組み」について、給食を題材にし、小学6年生を対象に実際の選挙様式で選挙体験を行う「給食推し選挙」は、主権者教育としてとても素晴らしいと思う。また、事業費をほとんどかけずに、子どもたちを通して保護者を含む関係者（有権者）にアプローチしているところもとても素晴らしいかった。本市では、親子連れ選挙（投票）を推進しているので、那珂川市での「GOTO センキヨ」は、とても参考になった。那珂川市担当者からは、このような主権者教育の効果は、10年、20年後に現れてくるため、ぜひ給食選挙を実行してほしいとのことであった。

「防災・減災の取組み」について、平成21年7月に発生した中国・九州北部豪雨での災害を教訓に、全37行政区全部（100%）に自主防災組織が結成され、幹事会、連絡会の上部組織を設け、縦横の連携をとり、年3回の防災訓練を行っている。また、那珂川市公式LINEアカウント登録者数も28,456人と市民の約6割となっており、防災意識の高さがうかがえた。

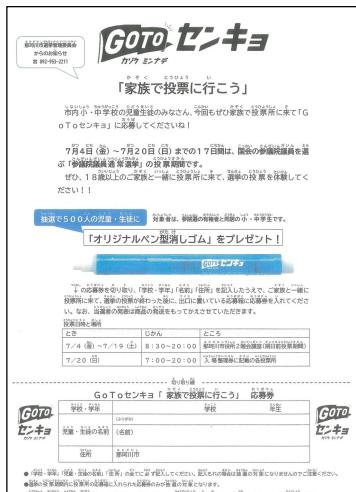
◎視察時の質疑

○投票立会人の確保について

- ・公募を実施し、50～60名の登録がある。

○過去の経験を踏まえ、何を基準に避難情報の発令を判断しているのか伺いたい。

- ・水害については、市役所前の轟橋観測所の河川水位情報が避難情報発令の判断基準としている。



GOTO 選挙のチラシ



那珂川市議会議場



那珂川市にある
モンベル五ヶ山ベースキャンプ



五ヶ山ベースキャンプ
ウォールテンテッドキャンプサイト

福岡県糸島市

観察日 令和7年11月6日（木）

1 糸島市の概要

福岡県最西端にある糸島半島に位置し、北は玄界灘に面し、南には脊振山系が連なる。福岡都心部まで約40分の距離で、近年は福岡市のベッドタウンとして人口が増加している。都市近郊型の農業も営まれ、ネギやイチゴの産出額が多く、都心から交通至便なリゾート地でもある。北東部と福岡市にまたがる九州大学伊都キャンパスを核に、学術研究都市づくりに取り組んでいる。

人口 103,833人 面積 215.69 km²
議員定数 20人

2 観察内容

糸島市は、海と山に囲まれた豊かな自然と福岡市までの車や鉄道でのアクセスの良さから近年移住者が増えており、世界的に知られるセンスある情報誌『MONOCLE（モノクル）』が2021年に発表した、住みやすい小さな街ランキングで世界3位に選ばれています。また、結婚支援や移住・定住支援を行い、人口が毎年増加しております、2024年2月には市合併後最多になった。

これら糸島市の移住・定住支援策や結婚支援策、またその広報戦略について説明を受けた後、質疑応答を行った。

3 所感

糸島市では、「戸建て住宅ニーズバンク」、「空き家オーナー相談会」、「空き家活用推進補助金」、「わが家の未来ノート」、「地域コーディネーター制度」、「二段階移住」

等々、実際に様々な移住施策を年間1千万程度の予算で実施し、かつ5人の職員で回している点に感銘を受けた。また、事業を開始した後3年というスパンで検証を行い、改善をしっかりと行うこと、また事業負担の割に効果が少ないといったデメリットが多い場合は、潔く辞める決断をしている点が進化し続けるポイントであり、これらの取組があって、効果的な事業の継続実施ができていると感じた。本気で移住定住による人口増に取組むのであれば専門部署（糸島市では人口減少地域対策係で対応）が必要であると感じた。

◎視察時の質疑

○「戸建て住宅ニーズバンク」発足の経緯と実績は。

空家バンクの成立件数が伸び悩み検証したところ、売り手と買い手のニーズをつなぐ事が必要となったため発足した。

○事業に至った経緯（どのような背景と課題があったか、またどのような効果を狙つたか）

平成22年の合併後人口が減少したため、危機感を感じ平成25年に移住定住の部署を設置した。



糸島市役所庁舎

「探している人」と「所有している人」をつなぐ
「戸建て住宅ニーズバンク」を開設しました。

見方は裏面へ▶

物件を探している人へ

希少するエリアや物取りなど、住まいの希望を登録して、糸島市のホームページ等を通して、広く発信することで、不動産市場で公開されない物件に出会える可能性が高くなります。

ぜひご登録ください。

登録要件 登録物件を介して満たす人へ

- ①糸島市内で戸建て住宅を購入または賃借して、自ら居住したい人。
- ②糸島市の定住支援員またはコミュニティ推進課員、または地域コーディネーターと対面またはオンラインで移住相談等を実施した人（既居組会・オンライン・移住相談会参加者を含む）。
- ③申請書提出時に本人確認ができる人（マイナンバーカード等）。

登録の流れ

- ①紹介希望者は、「糸島市戸建て住宅ニーズバンク登録票兼同意書・誓約書」を市へ提出（同時にニーズバンク登録専用業者名簿から宅建業者を名前）してください。
- ②市で各種業者を審査のうえ紹介希望者リストへ登録し、完了をお知らせします。

※登録票兼同意書・誓約書はこちらからダウンロードできます。

問い合わせ：糸島市コミュニティ推進課 ☎092-332-2062
mail : community@city.itoshima.lg.jp

糸島市

戸建てニーズバンク

空き家活用 推進補助金



＼相続登記／＼家財撤去／



糸島市は、空き家の売却または賃貸をするために、相続登記や家財撤去をする空き家の所有者に、費用の一部をサポートします。

最大30万円

まずは、ご相談ください。

お問い合わせ先
糸島市コミュニティ推進課 人口減少地域対策係
〒819-1192 福岡県糸島市前原西一丁目1番1号
☎ 092-332-2062
✉ community@city.itoshima.lg.jp

糸島市空き家バンク



あなたの使っていない物件を
糸島市空き家バンクで
有効活用しませんか？

✓売却収入を得て維持管理から解放
✓家賃などの収入を得ながら資産を維持
✓空き家・空き地の活用で地域活性化に貢献



空き家バンク制度とは？

空き家バンクとは、市内にある空き家・空き地の売買・賃貸を希望する所有者から登録をしたい情報や、市ホームページを通して公開し、定住や世帯移入・空き地の利用を希望する方に情報を提供する制度です。

実際にご覧ください！

糸島市 空き家バンク 検索 

※実際の売買・賃貸契約時は、所有者が必ずはじめ指定する不動産業者（市の登録業者）が媒介することになります。

お問い合わせ先
糸島市コミュニティ推進課
☎ 092-332-2062
Email : community@city.itoshima.lg.jp

詳解は画面をご覧ください ►►

空き家活用推進補助金

糸島市空き家バンク

佐賀県唐津市

視察日 令和7年11月6日（木）

1 唐津市の概要

佐賀県の北西部に位置し、北部は玄界灘、東部は福岡県に面した県第2の都市で、面積は県土の2割を占める。「魏志倭人伝」にも記述がある。古くからの大陸との海上交通の拠点で、明治以降は石炭の積出港として栄えた。現在は農業算出額県内トップで、とくにイチゴ、タマネギ、キュウリなどの産出額が高い。呼子イカ、唐津焼、秋季例大祭「唐津くんち」なども有名。

人口 115,475人 面積 487.58 km²

議員定数 28人 会派 8会派

2 視察内容

唐津市は、来庁者が迷うことなく、より簡単に、より利用しやすい窓口機能を整備し、来庁者のプライバシーに配慮し、円滑で安心できる行政サービスを受け取ることができる機能を導入することを基本コンセプトととして、令和4年7月に新たに本庁舎を建設した。防災拠点の機能を守る免震装置や6階には市民が立ち寄れる休憩スペースや唐津城を眺望できる屋外テラスがあり、親しまれる庁舎を目指している。これら唐津市の新庁舎建設事業について、新庁舎建設までの経緯や設備等の

概要、建設後の効果等について説明を受けた後、質疑応答を行った。また併せて、更なる財源を確保し財政力強化に繋げるため、ふるさと納税収支プラスランキング上位である唐津市のふるさと納税の取り組みについて視察し説明を受けた後、質疑応答を行った。

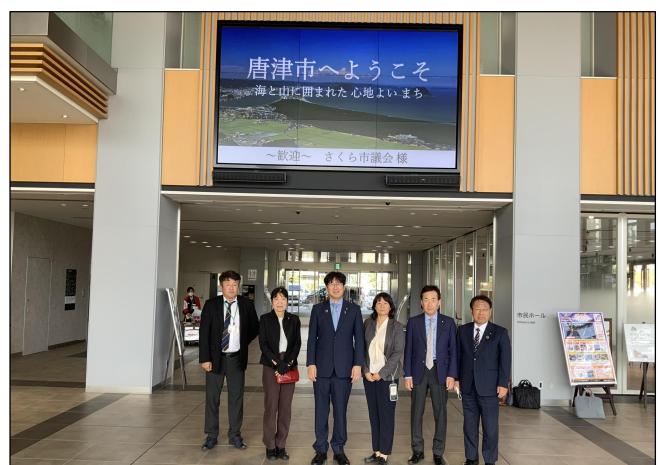
3 所感

「新庁舎建設事業」について、機能性、利便性が高く、環境負荷に配慮した素晴らしい庁舎だと感じた。1階と6階に市民への開放スペースがあり、夜8時まで開放していることから利用される方も多い。また免震構造であり、非常用電源、給・排水の備えも十分な防災拠点でもある。建設費用の財源として、公共施設整備基金が10億円で建設したのは予想外であった。

「ふるさと納税」について、唐津市では12のポータルサイトを使い、実績本位でポータルサイトを厳選運用し、動きのない返礼品の底上げをする等の細やかな運用を行っている。また、ふるさと納税を活用したクラウドファンディングでは、基金の目的がはっきりしており、「虹の松原」保全費用を賄った事例（10日間で1,270万円達成）は、今後自治体が課題解決をする際の参考になると感じた。



唐津市役所



◎視察時の質疑

○新庁舎建設事業について

- ・総工費：9,590,732千円
- ・財源

国庫補助金	社会資本整備総合交付金	40,000千円
地方債	公共施設適正管理推進事業債 (充当率90% 交付税措置率30%)	7,570,800千円
	緊急防災減災事業債 (充当率100% 交付税措置率70%)	171,500千円
	合併特例債 (充当率95% 交付税措置率70%)	580,100千円
	一般単独事業債 (充当率75% 交付税措置率0%)	39,500千円
一般財源	公共施設整備基金	1,069,865千円
	一般財源	118,967千円

○ふるさと納税について

- ・ふるさと納税額：約55.6億円
- ・ふるさと納税の募集に要した経費

①返礼品の調達に要した費用	1,321,666千円
②返礼品の送付に要した費用	416,394千円
③広報に要した費用	58,188千円
④寄附金の決済に要した費用	53,182千円
⑤ポータルサイト運営等に要した費用	929,157千円
⑥その他対象外経費	32,642千円
計	2,811,231千円

・唐津市の人気返礼品

1位	肉加工品（ハンバーグ）
2位	牛肉・精肉（佐賀牛）
3位	海産物（呼子のイカ）

4

唐津市の人気返礼品



No.1 肉加工品(ハンバーグ)

※その他に鶏肉（精肉）、海産物加工品、みかん、梨、お米なども人気があります。



No.2 牛肉・精肉(佐賀牛)



No.3 海産物(呼子のイカ)



唐津焼



ハウスミカン

3.人気の返礼品について